

単施設用

(調査 ・ 研究) 実施についてのお知らせ

令和 3年 8月 27日

【研究課題名】

新型コロナウイルス患者に対するリハビリテーション
～単一施設における実態調査～
(後ろ向き観察研究)

【研究期間】

2021年9月1日から2021年12月31日

【研究対象】

2020年4月1日から2021年3月31日までの期間に新型コロナウイルス感染症で当院に入院された方です。

【研究目的・意義】

- ① 当院における新型コロナウイルス感染で入院された患者さんに対するリハビリテーション介入の実態を調査します。得られた所見から今後も予想される医療逼迫に対して、効果的な人員配置やリハビリテーション運用に活用したいと考えています。
- ② 退院時転帰の要因となる身体機能や因子を明らかにし、在宅復帰に必要な目標値を検証します。得られた所見からリハビリテーション介入の必要度を明らかにすることで限られた医療資源の有効活用を目指します。

【研究方法】

後ろ向き観察研究

【研究に用いられる試料・情報の種類】

年齢、性別、入院期間、リハビリ実施状況、身体機能（握力など）、日常生活の評価、退院先（自宅退院、転院）など

【個人情報の取扱い】

- ・得られた情報は全て匿名化され、個人が特定できないように加工・処理されます。
- ・情報の保管は施錠された状態で管理されます。

【本研究の資金源（利益相反）】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：リハビリテーション室 担当者名：湧川盛邦

沖縄県うるま市字宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）